

福島県立湖南高等学校  
令和2年10月7日(水)

## 令和2年度 第3回学校運営協議会 議事録

- 1 日時 令和2年10月7日(水) 15:30~16:00
- 2 場所 湖南高校 図書室
- 3 参加者  
委員 (敬称略・順不同)  
小山伝一郎、石田慶仁、薄良枝、富田弘、佐藤忠男、  
和田祐樹、阿部洋平、酒井祐二  
事務局  
遠藤潤、熊谷明彦、渡邊大典、鈴木さゆり、渋川敦志  
オブザーバー  
藤岡慎二 (株式会社Prima Pinguino 代表取締役、産業能率大学教授)、  
渡部俊博 (福島県教育庁高校教育課指導主事)
- 4 内容
  - (1) 開会のことば 遠藤教頭
  - (2) 会長あいさつ 小山会長  
リモートで藤岡慎二先生にもご参加いただいている。短時間ではあるがよろしく願います。
  - (3) 校長あいさつ 酒井校長  
先ほどの講演会は非常に役立った。今回の協議会は藤岡先生の講演がメインであるため、熟議は次回に行い、報告を中心に行っていきたい。  
現在行われている蕎麦プロジェクトも地域の方々のご協力を得ており、感謝している。今後、様々なアイデアを協議会を通し、地域の方々に相談しながら、チャレンジしていきたい。今後とも協力をお願いしたい。
  - (4) 協議
    - ① 学校からの報告

- ・六次産業化「蕎麦プロジェクト」について 熊谷教諭  
「蕎麦プロジェクト」の経過説明と今後の予定／資料の説明
- ・湖南高校応援隊「湖南エール隊」について 遠藤教頭  
「湖南エール隊」の説明／資料の説明
- ・学校行事の連携「イベントに行ったり来たりしませんか」 渡部教諭  
「イベントに行ったり来たりしませんか」の経過報告／資料の説明
- ・先進校視察報告 熊谷教諭  
群馬県立尾瀬高校の視察報告／資料の説明

(5) 質問・ご意見

委員：先進校視察について。最近、尾瀬高校についてテレビでも報道があった。水芭蕉の栽培を始めたらしい。片品村は財源はある。湖南にもいい話を持ってきほしい。

委員：「イベントに行ったり来たりについて」の案内やチラシ等を出されているのか。イベントについての事前の案内はあるのか

事務局：学校ホームページには載せている。もし不十分であれば、今後情報交換できる場を高めていきたい。

会長：地域の方が参加できる行事を選択し、ポイントを絞ってPRもできるのではないかと。すべてのイベントで地域の方を受け入れるのは難しいのでは。

事務局：今後、事務局で検討したい。回覧板も有効か。

委員：尾瀬高校視察について。視察に一人しかいけないのは予算の都合か。

事務局：その通りである。

委員：可能であれば複数名を派遣できると、学びの質が高まるのではないかと。

委員：「イベント行ったり来たり」について。学校教員有志と地域有志の方々でお茶のみなど定期的にざくばらんに話せる会があれば、より充実した意見交換ができるのではないかと。形式的にならずに。

地域の方を巻き込めるような仕組みがあればいいと思う。

事務局：校長室はいつでも開かれている。

委員：確かにそうだが、やはり恐縮してしまうのではないかと。日にちが決まっていると参加しやすい方もいるのでは。その場で今後のイベントの共有などもできる。協議会以外の人にも気楽に参加できるようにしてほしい。

事務局：今後検討したい。

藤岡オブザーバー：

高校と地域の協議会は初めて見たが活発な議論だった。参考になった。プロジェクト化している学校は、定期的に顔を合わせ、進捗状況を報告する機会を月1回位設けている。そうすると、互いの情報がそろろう。情報共有することはとても重要。関係性の構築もできる。今日はオブザーブできたことに感謝している。

渡部俊博指導主事：

講演会もとても参考になった。今後、湖南高校の取組や体制が福島県の指針になり得る。湖南高校の蕎麦プロジェクトも本県にとって良い地域協働のモデルケースになるのではないか。それは生徒の愛郷心につながる。我々が走り続けることにより、生徒の成長につなげたい。

事務局：次回・第4回の協議会は12月21日(月)、蕎麦プロジェクト行事は「蕎麦打ち体験」12月3日(木)です。よろしくお願いいたします。

(6) 閉会のことば 遠藤教頭

(16時終了)